1. 輸出、堅調

Bangladeshの現在の会計年度上半期(7月-12月)は7.84%の成長を見せ、ニットウェア、織物衣料、ジュート及びジュート製品、農業革製品の穏やかな成長のおかげで合計160億8390万ドルとなった。12月1ヶ月間の輸出状況を見ても戦略目標28億4413万ドルよりも12.66%高い32億407万ドルであった。輸出推進局(EPB)が発表したデータによると昨年度の7月から12月輸出収入は合計149億1421万ドルであった。昨年度(15年度)の輸出総額は312億894万ドルであった。今年度7月-12月のEPB統計によるとニットウェア輸出はそのポジティブな傾向を保っており、64億3205万ドルを稼ぎ、これは昨年度の同期と比較し6.11%増加している。一方織物衣料は12.42%増加し67億353万ドルの収入となった。UNBによると6ヶ月の間ホームテキスタイルの輸出は16.68%の増加で合計3億4843万ドルとなり、革靴の輸出は2億5204万ドルを稼いだ。また一次産品は5億5264万ドル、冷凍魚、海老その他を含めた冷凍食品は2億8576万ドル、そして農業製品は2億6688万ドルの収入を得ている。

2. 海外からの送金、順調に推移

Bangladeshは昨年の12月最初の25日間で10億8,300万ドルの送金を受け取った。この数字は11月には11億4,200万ドルであった。中央銀行の統計によるとアグラニ、ジャナタ、ルバリ及びソナリの4つの国営商業銀行は海外に住むベンガル人から3億2,591万ドルを受け取り、また4つの国営専門銀行は1,118万ドルを受け取っている。送金の大部分は民間商業銀行が受け取っており、その総額は7億3,143万ドル。9つの外国の銀行からは1,449万ドルであった。民間商業銀行の中にはイスラミ・バンク・Bangladesh・リミテッド(IBBL)が送金収入のトップとなり、この銀行は2億6,902万ドルの最高の送金を受け取った。これに続き、ウトラ・バンクが4,851万ドルであった。国営の銀行の中ではアグラニ銀行が1億1,791万ドル、ソナリ銀行1億435万ドル、ジャナタ銀行8,437万ドルそしてルバリ銀行が1,928万ドルであった。通信社によると、その他多額の送金収入を受け取った銀行にはダッチ・Bangla銀行(4,423万ドル)、ナショナル銀行リミテッド(3,917万ドル)、バンク・アジア(2,747万ドル)、トラスト銀行(1,596万ドル)、プライム銀行(2,529万ドル)そしてAB銀行(1,642万ドル)が含まれている。

3. 外貨準備、増加

安定した輸出と送金のおかげで、Bangladeshの外貨準備金は12月末274億9千万ドルを記録した。世界的に必要品の価格が低下したことを背景に、輸入の増加が減速したことも準備金が昨年度の同期と比較して23%増加したことにより一役買っている。準備金は7か月分の輸入経費をまかなうのに十分な金額である。7月から11月までの今年度最初の5ヶ月間、重要産業は致命的な工場事故に苦しんだが、衣料販売が順調であったので前の会計年度よりも6.7%増加して128億8千万ドルに達した。1億6000万人の我国の二つの主な収入源である衣料輸出と海外で働くBangladesh人からの送金はここ数年外貨準備金の増加を推進している。

4. Bangladesh中央銀行、金利下げ

中央銀行は経済投資に拍車をかけるため、その政策金利をこの3年間で初めて切り下げると発表した。発表によるとレポ取引とリバースレポの金利は会計年度下半期のための金融政策声明では50ベースポイントで減少される見通しだ。レポ取引とリバースレポは2013年2月から変化を見せずそれぞれ7.25%、5.25%となっている。レポ取引金利とは中央銀行が商業銀行に貸し出すときの金利である。レポ取引金利を切り下げれば商業銀行が資金不足の場合、安い金利で資金を得ることができる。インフレが上昇すると、中央銀行はレポ取引金利を増加させる傾向がある。普通銀行が中央銀行から資金を借りることを抑制する働きをするからだ。こうすることにより結局経済のマネー・サプライを減少させ、インフレを緩和させることになる。中央銀行はインフレ圧力の低下した場合は、逆の立場を取ることにしている。リザーブ・レポ金利とはBangladesh銀行が、金融供給を管理するために商業銀行から資金を借りるときの金利を意味している。Bangladesh銀行はインフレを食い止める政策に成功しているので、これから開始される通貨政策も非常に拡大的であると高く期待されている。2015-16年7月-12月の通貨政策声明では平均インフレ率目標を6.2%と掲げていたが、実際の平均率は6.21%であった。民間部門のクレジット増加目標は本日の声明では可能なレベルに減少される見込みだとBangladesh銀行の関係者は語っている。上半期に掲げられていた目標は15%であったが、民間部門のクレジット増加率は13.72%であった。「もし下半期の目標を達成させることができれば、今年度の経済成長が7%に達するには十分である」と関係者は付け加えた。

5. パドマ橋、建設開始

シェイク・ハシナ首相は、「バングラデシュは自国の基金で、パドマ橋プロジェクトを開始しその底力を見せた。誰もバングラデシュを挫けさせることはできない。バングラデシュは国民の父のもとで独立を達成した。わが政府はバングラデシュ人と共にある。パドマ橋プロジェクトを実行に移すことができたことは、わが国民を誰も挫けさせることができないことの証明である」と、オスマニ記念講堂で、ボンゴボンドゥー国家農業賞の表彰式の辞で述べた。首相は偽りの腐敗でクレームがついた後、自国の基金で理想の橋の建設を発表した時、この件に関し彼女の側に立った国民に対し感謝の意を表した。「あの時、人々からいただいた熱狂的な支持が、私と私の政府の士気を高めた」と彼女は付け加えた。

6. 4日間にわたり国際RMGソーシング・トレード・ショー開催

1/14から4日間にわたって RMG 産業界国際ソーシング・トレード・ショーが、ダッカのボションダラにあるインターナショナル・コンベンション・シティで行われた。30 カ国以上の国々から 300 近くの会社この博覧会—ガーマンテク・バングラデシュ 2016 及び国際ヨーン及びファブリック・ソーシング・フェアそしてギャップ・エキスポ-2016 に参加した。

7. 既製服縫製産業の従業員の男女比は、35:65

「バングラデシュにおける衣料労働者：衣料産業の社会影響」と題された調査によると、「一般的には既製服縫製 (RMG) 部門には女性労働者が 80% 占めていると信じられている。しかしこの調査によると RMG 労働者の男性と女性の比率は 35:65 であった」ということがわかった。これはバングラデシュ衣料メーカー及び輸出業者協会 (BGMEA) の男性と女性労働者の比率の調査結果とは異なっている。「NGO: 開発のためのアジア・センター (ACD)」は、BGMEA のイニシアティブのもとで、バングラデシュ統計局の二人の副ディレクターがアドバイスした方法論を利用して、この調査を行った。この機関は BGMEA の会員である 173 の衣料縫製工場の 1,204 人を調査した。平均的に、工場は 950 人近くの労働者を雇用していることがわかった。セーターの生産工場では男性と女性の比率は 46:54、ニットウェアの生産工場では 42:58 そしてその他の種類の工場では 30:70 であった。BGMEA 会長シッディクール・ラハマンは、「男性-女性労働者の比率は、セーターのサブ・セクターではオートメーション化のためにやや減少すると思われるが、この部門の女性労働者は 70% を越えるはずだ。調査はこの部門の全体像を反映していない」と、述べた。

ACD によると、RMG 業界には、400 万人近くの労働者が働いており、そのうち 260 万人が女性で 140 万人が男性であることが明らかになっている。労働者の 87% 近くがほかの管区から工場所在地に出稼ぎに来ており、残りの数字が地元の労働者であることも明らかにした。また出稼ぎ労働者はバングラデシュの 64 の管区のうち 59 の管区から来ており、ポリシャルからがトップで、それに続きコミッタ、マイメンシンそしてラングプールと続いている。調査によると、86% の衣料労働者は携帯電話を持っており、68% がテレビ、28% が金の装飾品を持っている。衣料労働者の月々の平均経費は 11,299 タカでそのうち 40% が食事、30% が家賃そして 11% が両親への送金であることも調査では明らかになった。ACD は調査の目的は RMG 産業界の労働力、労働者の生活、彼らの家族の全体像を見極め、部門の社会影響を評価することであると述べた。

8. 5つの製品だけに頼っているのは RMG 輸出の持続性が危ない

「バングラデシュのアパレル部門からの収入は、上昇しているがいまだに限られたアイテムに頼っており、このままではグローバル・マーケットで持続性を保つのは危うい」と産業界関係者や専門家は語っている。バングラデシュは 30 タイプ以上の製品を輸出しているのに、わずか 5 つのアイテムすなわちシャツ、ズボン、ジャケット、T シャツそしてセーターの出荷がこの部門収入の 78% 以上を占めている。バングラデシュはニットと織物輸出から 2014-15 年度 254 億 9 千万ドルを稼ぎ出した。しかしこのうち 200 億 4 千万ドルはわずか 5 つのアイテムで稼いだものと輸出推進委員会のデータとバングラデシュ衣料メーカー及び輸出業者協会 (BGMEA) のデータでは示している。

データによると、輸出収入合計金額は、昨年度 311 億 9800 万ドルに達し、総額の 81.71% を衣料輸出が占めている。専門家や輸出業者は、数種類のアイテムに頼っていると分析した上で、製品の多様化、新市場探索に対し効率的な努力にかけていること、専門的なスキルを持つ労働力の不足、乏しいインフラそして企業家の冒険に対する躊躇にも原因があると指摘した。しかも地元衣料製品の海外販売も欧州連合、アメリカ、カナダそして日本という主な 4 つの輸出先に限られており、輸出相手国も増えていないことも指摘し、ひとつの部門と少数のアイテムに依存することは輸出収入を危うくする可能性があることも付け加えた。政府が RMG ではないアイテムを含め国内製品を競合させ、世界中でまだ手をつけていない市場を探索するための行動計画を持って進みでるべきであると続けた。計画では、現在のエネルギー状況と国内の低いインフラ機能を改善させるべきであると彼らはアドバイスした。政府の政策援助は新しいミッションを派遣し、国内製品のブランド化そして可能性のある部門に現金援助をすることを含め輸出シナリオ全体を変える必要があると続けている。

バングラデシュ・ニットウェア・メーカー及び輸出業者協会(BKMEA)元会長ファズルール・ホックは、「少ない数のアイテムへの依存は企業家の躊躇そして需要を世界中の基本アイテムに設定していることが原因である。このことはポジティブそしてネガティブ両方の影響がある。我々は専門知識を発展させ、これらのアイテムで世界1になった。しかし限られたアイテムに制限されているので強靱な足場を築く必要がある。最近輸出収入が停滞しているのはひとつの部門と数少ないアイテムに依存しているのに原因がある。中国はバラエティに富んだ様々なタイプの製品を生産しているため、輸出第1位を保っている。もし我が国が世界市場のシェアを増加させ、さらに成長したいなら、生産と市場の多様化を行わなければならない」と語っている。

BGMEAのシニア副会長ファルーク・ハッサンは、「アパレルメーカーが、徐々に基本製品から中級・高級製品へ替えており、これらの5つの基本アイテムにも多くの付加価値がある。このことでメーカーは価格圧力に対応し、成長を保つことができている。例えば、セーターメーカーは現在製品をより高級にするためにジャカード織機を備え付けている。2021年までに500億ドルの輸出目標を達成させるために、製品の多様化は必須で、ランジェリー、スーツそしてスポーツウェアのような付加価値アイテムをもっと生産する必要がある」と述べた。クラシック・グループの代表取締役Md.シヤヒドゥッラは、「機械に莫大な投資をすることが、付加価値製品を生産するのに必要である」と語り、我が国で高級品の生産をするため魅力的な投資を得ようと、一桁の銀行金利とガスや電気のスムーズな供給を含めた政府の政策援助を求めている。政策ダイアログ・センターの兼任研究員コンドカール・ゴラム・モアッゼムは、「長い目で見ると賃金値上げを余儀なくされ、価格競争に勝つことは難しいかもしれない。バングラデシュが中流収入国になるとGSPも得られなくなるので、長い目で見ると生産の多様化以外その競争性を保つ要因はない」と話した。

9. チッタゴンにアパレル工業団地建設

バングラデシュ衣料メーカー及び輸出業者協会(BGMEA)とチッタゴン・シティ・コーポレーション(CCC)は、コンプライアンス問題に直面し、移転が必要な既製服縫製工場のために、チッタゴンのカルルガトにアパレル工業団地を建設することになった。「アパレル工業団地は海外のバイヤーと小売業者から設定された安全設備を整え、政府が設定した国家行動計画の条件を保ち、建設されることになっている。雑居ビルや欠陥ビルの中に工場を持つ中小企業家たちがこの工場団地への入居で優先されることになっている」と、BGMEA副会長モハメド・ナシルは語っている。チッタゴン地区の中小企業の多くは賃借工場なので、彼らの工場をヨーロッパと北アメリカのバイヤーのグループが指示しているコンプライアンスに合格するのが難しい。

チッタゴン市長AZNナシル・ウッディンは、「工業団地を開発するために10.36エーカーの土地を準備した。またそこには中央廃水処置施設、消防署、保育所そしてカーゴリフトが備えられることになっており、企業家は頭金として総経費の10%を支払えばよいことになっている」と言った。BGMEAのリーダーは、「この土地には、11の7階建ての建物が建設され、そのフロアのサイズはそれぞれ床面積20,000スクエア・フィートである。この工業団地に、30の工場を入れることが可能であり、その配分を受けた企業は、40年の契約で、段階的に経費を支払うことになっている。工場オーナーは1スクエア・フィートにつき、毎月家賃として10タカを支払い、5年ごとに5%値上げされることになっている。この工業団地の建設が2年以内で完成することを期待しており、協会はこの工業団地に移転に興味のある申込者を募集している」と語っている。

10. RMG部門の長期安全には、専門知識と技術ノウハウの開発が必要

バングラデシュエンジニア学会化学工学部が、衣料産業界での危険とリスク度査定について、ダッカでセミナーを行い、「国内の専門知識と技術ノウハウの開発が、バングラデシュの既製服部門の長期安全を確実にするために必須である」と語った。彼らは産業安全基準を開発させるために、政府と衣料縫製工場のオーナーそして大学の一致協力を強調した。テキサスA&M大学の化学工学部教授M・サム・マンナンが、このセミナーでキーノートを発表した。彼は政府と工場のオーナー及びその他産業関係者がコンプライアンスのための新しい規則を開発することを主張した。国際安全専門家でもあるマンナンは、現実的な解決方法を見つけ出し、ゴールに到着することを目的に、「安全サミット」を開催することを提案し、「安全サミットの目的は国内国外の産業関係者が、その都度注目すべき問題を見極め改善することを目的としている。欧州連合と北アメリカの販売業者のグループは、RMG部門の短期的な安全問題を解決できるが、長期的なゴールのためには我が国の専門知識が重要だと考えている」と語った。

11. BGMEA、工場改善状況調査を開始

2つのグローバル小売業者査察チームから、進展が遅いとクレームがつきバングラデシュ衣料メーカー及び輸出業者協会(BGMEA)は、既製服縫製工場の実際の改善進行状況の調査に踏み出した。ヨーロッパの小売業者のプラットフォーム:「バングラデシュ火災及び建物安全のためのアコード」と北アメリカのバイヤー連盟:「バングラデシュ労働者安

全のためのアリアンス」は、たびたび改善の進行状況に満足できない工場がたくさんあるとクレームをつけていた。アコードは既に予定通りに改善が行われなかったとして 8 つの衣料工場との関係を絶っている。同時に工場の改善行動計画の実行が遅れているため、裁断ビジネス関係の 120 以上の工場にも警告を出している。アリアンスは最近サプライヤーリストから 23 の工場を削除し、さらに 12 の工場に十分な改善を行うことができていないと警告している。

アコードとアリアンスのクレームの後、BGMEA は工場検査と改善進行状況についての情報収集を始めた。BGMEA の副会長マハムド・ハサン・カン・バブは、「検査状況アップデートのためのフォーマットを準備し、工場オーナーは BGMEA にフォーマットに従って情報を提出するようにと指示している。今のところ 45-46 の工場が彼らの検査状況を提出し、他の工場もレポートをまもなく提出するだろう。工場オーナーから検査状況を集めた後、アコードとアリアンスからのレポートと比較し実際の状況を把握することになっている。予想通りに改善を進ませることができなかった工場と BGMEA は話し合いの機会を設ける。BGMEA は改善が遅れている工場の本当の問題点を見極め、コンプライアントに従えるようそれらの工場を援助したいと考えている」と語っている。BGMEA の統計によると、BGMEA は 2015 年の最後の週に会員の工場に情報を求め、47 の工場が 1 月 6 日までに BGMEA に報告書を提出した。BGMEA のデータによると 47 の工場のうち、2 つの工場が修正行動計画 100%完成させ、16 の工場は 80%達成しており、21 の工場では 50-79%達成している。7 つの工場の達成率 7%以下であった。2013 年 1,100 人以上のほとんどが労働者の死者を出したラナプラザ崩壊の後、EU 小売業者はアコードを編成、そして北アメリカの小売業者たちはアリアンスを編成した。両方ともそれらのメンバーが、彼らの製品を生産しているバングラデシュの RMG 工場で、検査プログラムを開始し、リストに載っている 2,300 以上を数える工場での主な安全査定は完了している。ILO と協会を作っている政府は、アリアンスとアコードのリストに載っていない残りの工場の検査を別に発表した。そして政府-ILO 検査団体は 1,500 の工場の検査を行った。

以上